

各市町村教育委員会教育長 様
各 教 育 事 務 所 長 様
各 県 立 学 校 長 様

埼玉県教育委員会教育長
(公 印 省 略)

児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）

平素より、児童生徒への自殺予防に係る御理解と御対応に感謝申し上げます。さて、標記の件について、文部科学省初等中等教育局児童生徒課長から別添写しのとおり通知（以下文科省通知）がありました。

文科省通知によると、警察庁・厚生労働省の自殺統計における令和2年の児童生徒の自殺者数は、499人で、前年と比較し100人の増加となっています。本県においても、令和2年度のさいたま市を除く県内公立学校の自殺が疑われる事案は23件（県教育委員会が把握している事案）となり、極めて憂慮すべき状況です。

また、18歳以下の自殺は、学校の長期休業明けにかけて増加する傾向があります。さらに、2学期が始まってしばらくしてから事案が発生する傾向もうかがえます。そのため、夏季休業前から学校として組織体制を整え、自殺予防に向けた取組を強化することは、児童生徒の尊い命を守っていくことにつながります。

つきましては、文科省通知で求められている取組の他、下記の事項に留意いただき、自殺予防に向けた取組を積極的に実施するようお願いします。

また、教育事務所にあっては管内の市町村教育委員会に対して、市町村教育委員会にあっては所管の学校に対して周知いただくとともに、適切な対応がなされるよう配意願います。

記

1 学校が行うべき取組について

（1）自分の悩みや友人の危機等を相談することの重要性について指導すること

自殺した児童生徒は、学校や家族ではなく、友人にのみ自分の気持ちを打ち明けていることがある。自分の悩みや友人の危機等を一人で抱え込まずに大人に相談することは、相談を受けた児童生徒を守る意味でも大変重要であることから、夏季休業前の学級活動等を活用し、発達段階に応じて指導すること。

（2）一人一人の児童生徒の状況を把握すること

自殺した児童生徒の背景には、精神面での不安定さ、進路問題、家庭環境の悩み、発達面での悩みなど、様々な要因が存在する。また、長期休業中の課題や成績について、児童生徒に予想以上のストレスがかかっていることもある。自殺した児童生徒が校内で心配される状況ではなかった事例も多いことから、各学校においては、休業中の登校日や部活動等の機会を捉えたり、オンラインを活用したりするなどして継続的にリスクのある児童生徒の把握に努めること。

(3) 組織的に対応すること

少しでも気になる児童生徒を把握したときは、特定の教職員で抱え込まず、直ちに管理職に報告し、学校全体で対応にあたること。また、常に最悪の事態を想定し、必要な場合は迷わず専門家や関係機関と連携すること。

(4) 家庭との連携を密にすること

学校や家庭で児童生徒の悩みや変化を把握した場合には、小さなことでも情報共有を図ることについて確認するなど、夏季休業前に家庭との連携強化に努めること。また、夏季休業中も各家庭へ一斉メール等（参考 別添2）を送るなどして、継続的に児童生徒の見守りを依頼すること。

2 教育長メッセージについて

児童生徒の尊い命が失われることのないよう、児童生徒および保護者に向けた教育長メッセージを以下のとおり配信した。学級活動等で活用するとともに、学校HP・学校だより等に掲載するなどして、積極的に周知をすること。

- 児童生徒の皆さんへ ～かけがえのない自分や友人を大切に～

<https://www.youtube.com/watch?v=-XajLjLVBTe>



- 保護者の皆様へ ～かけがえのない子供たちを守るために～

<https://www.youtube.com/watch?v=n1XxhKcxCGY>



3 添付資料

- 別添1（文科省通知 写）児童生徒の自殺予防に係る取組について（通知）
- 別添2（参考）保護者へのメール等文例
- 別添3（テキスト版）児童生徒の皆さんへ ～かけがえのない自分や友人を大切に～
- 別添4（テキスト版）保護者の皆様へ ～かけがえのない子供たちを守るために～

4 参考資料

- 困ったときの相談窓口

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e2201/kyouikusoudan.html>



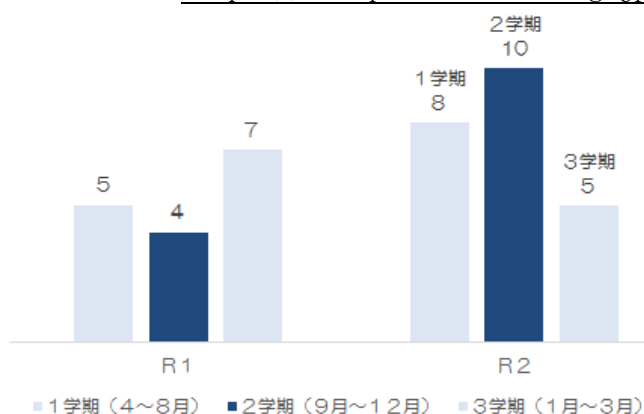
- 「子供のメンタルヘルスについて」（児童生徒・保護者・教員向けリーフレット）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/cocoronocoea/cocoronocoea.html>



- 生徒指導ハンドブック（I's2019 ～いじめ・自殺・暴力行為対応ハンドブック～）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/handbook/handbook-is.html>



県内公立学校の自殺が疑われる事案

※ 県教委に報告のあったもの（さいたま市は除く）

担 当 埼玉県教育局県立学校部生徒指導課
生徒指導・いじめ対策・非行防止担当
新井・中川

T E L 048-830-6908

F A X 048-830-4952

E-mail a6740-05@pref.saitama.lg.jp